

平成18年12月22日

千葉県さわやかちば県民プラザESCO事業提案審査の講評

本事業は、地球温暖化対策の率直的な取組みの一つとして「さわやかちば県民プラザ」において、省エネルギー改修による二酸化炭素排出量の削減と光熱水費の削減に効果のあるESCO(エスコ)事業(Energy Service Company)を県内の公共施設において初めて導入するものです。

平成8年11月15日に開所された本施設は、参加活動型の学習空間、実習室、研修室及び宿泊室からなる複合施設となっています。

このたび、ESCO事業者のノウハウを活かした効果的な省エネルギー設備の導入等により、光熱水費の削減を図り、さらに、省エネによるCO₂の削減など、環境負荷の低減を進めるため、本事業の提案公募を実施したところ、5グループから提案書を提出いただきました。

厳正なる審査の結果、特に、日本ファシリティ・ソリューション株式会社及び株式会社関電工から構成されるグループの提案は、アゴラ(自由なふれあい空間)系統空調機等の外気量ダンパー制御、外調機外気量のインバータ制御、人感センサーによるファンコイルユニット制御、高効率空冷ヒートポンプチラーの新設による熱源更新、冷温水2次ポンプのインバータ制御、照明設備の高効率化、誘導灯の高輝度化等の省エネルギー手法が盛り込まれ、環境的、技術的及び財政的評価事項のすべてに高い水準となっており、最も優れた提案と評価いたしました。

また、株式会社きんでん及び近電商事株式会社から構成されるグループからは、各種多様の省エネルギー手法の導入が提案されましたが、総合的な観点から、前記提案に次ぐ優れた提案と評価いたしました。その他のグループからの提案もそれぞれユニークな視点を含む省エネルギー手法の導入が提案されましたが、前記2つのグループの提案には及びませんでした。

以上のことから、本委員会では、日本ファシリティ・ソリューション株式会社及び株式会社関電工から構成されるグループの提案を最優秀提案とし、株式会社きんでん及び近電商事株式会社から構成されるグループの提案を次点提案といたしました。

最後に、多大なるご労力をかけ、貴重なるご提案をいただいた応募者各位には、心から御礼申し上げます。

千葉県さわやかちば県民プラザESCO事業提案審査委員会
委員長 川瀬 貴晴